

表 2-1 JCS による意識障害のレベル分類

-
- III. 刺激しても覚醒しない状態
 - 300. 痛み刺激に反応しない
 - 200. 痛み刺激で少し手足を動かしたり、顔をしかめる
 - 100. 痛み刺激に対し、払いのけるような動作をする
 - II. 刺激すると覚醒する状態（刺激を止めると眠り込む）
 - 30. 痛み刺激を加えつつ、呼びかけを繰り返すとかろうじて開眼する
 - 20. 大きな声または体を揺さぶることにより開眼する
[簡単な命令に応じる。たとえば握った手を離す]
 - 10. 普通の呼びかけで容易に開眼する
[合目的な運動（例えば、右手を握れ、離せ）をするし、言葉も出るが、間違いが多い]
 - I. 刺激しないでも覚醒している状態
 - 3. 自分の名前、生年月日は言えない
 - 2. 見当識障害がある
 - 1. だいたい意識清明であるが、今ひとつはっきりしない

R : restlessness (不穏状態), I : incontinence (失禁)

記載例 : 100-I, 20-RI

[] は何らかの理由により開眼できない場合

(坂本⁶⁾, 1974)

表 2-2 JCS の乳児用改訂版

-
- III. 刺激をしても覚醒しない状態
 - 300. 痛み刺激に反応しない
 - 200. 痛み刺激で少し手足を動かしたり、顔をしかめたりする
 - 100. 痛み刺激に対し、払いのけるような動作をする
 - II. 刺激をすると覚醒する状態（刺激をやめると眠り込む）
 - 30. 呼びかけを繰り返すとかろうじて開眼する
 - 20. 呼びかけると開眼して目を向ける
 - 10. 飲み物を見せると飲もうとする。あるいは、乳首を見せれば欲しがって吸う
 - I. 刺激しないでも覚醒している状態
 - 3. 母親と視線が合わない
 - 2. あやしても笑わないが視線は合う
 - 1. あやすと笑う。ただし不十分で声を出して笑わない

(坂本⁶⁾, 1978)